プレスリリース

平成21年6月11日
農林水産省

# 平成21年度病害虫発生予報第3号の発表について

向こう1か月の主要な病害虫の発生動向についての発生予察情報及び病害虫防除に関する栽培管理について解説します。

## 病害虫防除の主な留意点

- 向こう1か月の天気は、北海道及び東北で数日の周期で変わり、関東から沖縄にかけて平年と同様に曇りや雨の日が多いと予想されています。また、気温は近畿から沖縄にかけて平年並または低い、降水量は近畿から九州にかけて少ないと予想されています。
- 梅雨時期を迎えた地域では病害虫の発生しやすい環境になります。病害虫防除に当たっては、天候の状況に注意しつつ、都道府県による発生予察情報に基づき、地域ごとの防除基準に従って、適切な防除を行ってください。
- なお、薬剤による防除を実施する場合には、病害虫が薬剤抵抗性を獲得しないように、同一系統薬剤の連続使用を避けてください。

### 用語の解説

1.【発生量（程度）】

- 多い（高い）：やや多いの外側10%の度数の入る幅
- やや多い（やや高い）：平年並の外側20%の度数の入る幅
- 平年並：平年値を中心として40%の度数の入る幅
- やや少ない（やや低い）：平年並の外側20%の度数の入る幅
- 少ない（低い）：やや少ないの外側10%の度数の入る幅

（平年値は過去10 年間の平均）

2.【地域】

- 北海道：北海道
- 東北：青森県、岩手県、宮城県、秋田県、山形県、福島県
  北東北：青森県、岩手県、秋田県
  南東北：宮城県、山形県、福島県
- 関東：茨城県、栃木県、群馬県、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県
  北関東：茨城県、栃木県、群馬県
  南関東：埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県
- 甲信：山梨県、長野県
- 北陸：新潟県、富山県、石川県、福井県
- 東海：岐阜県、静岡県、愛知県、三重県

・ 近畿：滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県
・ 中国：鳥取県、島根県、岡山県、広島県、山口県
・ 四国：徳島県、香川県、愛媛県、高知県
・ 九州：福岡県、佐賀県、長崎県、熊本県、大分県、宮崎県、鹿児島県
　北九州：福岡県、佐賀県、長崎県、大分県
　南九州：熊本県、宮崎県、鹿児島県
・ 沖縄：沖縄県

## 【稲】

・ **葉いもち**の発生は、各地域で「平年並み」または「やや少ない」と予想されます。水田に放置したままの補植用取置き苗は、いもち病の伝染源になるので、本田から早期に除去してください。
・ **ヒメトビウンカ**は、南関東、東海、近畿、中国及び九州の一部地域でで「やや多い」または「多い」と予想されます。本害虫の縞葉枯病ウイルス保毒虫率が平年値を超える高い値になっている地域があります。普通期水稲で本害虫の発生を本田で確認した場合は、早期に適切な防除を行ってください。
・ **ニカメイガ**は北陸の一部地域で「多い」、北関東及び近畿の一部で「やや多い」と予想されます。本害虫は局所的に多発する場合がありますので、加害を確認した場合は薬剤防除を実施してください。
・ 海外飛来性害虫については、**セジロウンカ**の飛来が山口県、福岡県、佐賀県、長崎県、大分県、鹿児島県で確認されています。飛来時期は山口県、佐賀県で「平年並み」ですが、その他の県は「やや早め」となっています。今後の飛来状況及び本田での発生状況に十分注意してください。

## 【麦】

・ **赤かび病**は、北海道及び東北で「平年並み」と予想されています。本病は、開花期の穂に感染しやすく、この時期に降雨が続き平均気温が高い（18 ～ 20℃）と多発するので、本病の発生状況に応じて追加の防除を実施してください。 赤かび病の防除は、適期を逃さず行うことが重要であり、防除適期に降雨が多い場合であっても、短い晴れ間を利用するなど、確実に防除を実施してください。
・ **うどんこ病**の発生は、東北の一部地域で「やや多い」と予想されます。発生状況に応じて防除を実施してください。

## 【果樹】

（果樹共通）

・ **果樹カメムシ類**の発生は、東北、関東の一部地域及び九州で「やや多い」、四国の一部地域で「多い」と予想されています。例年、カメムシ類の被害が多い園地や山林に隣接した園地では、園内の観察をきめ細かく行い、飛来が認められた場合には適切に防除を実施してください。

（かんきつ）

・ **そうか病**の発生は、「平年並み」または「やや少ない」と予想されていまが、例年、発生が多い園地では、伝染源となる罹病葉及び罹病枝は除去して、確実に園外で処分し、発生に応じて薬剤防除を実施してください。
・ **黒点病**の発生は、「平年並み」または「やや少ない」と予想されています。本病の伝染源である枯れ枝を除去し、発生に応じて薬剤防除を実施してください。また、降雨が続くと感染が拡大するので、降雨の合間を見て薬剤防除を実施してください。
・ **かいよう病**の発生は、九州の一部地域で「やや多い」と予想されるほかは、平年以下と予想されます。昨年多発した園地では、越冬病斑が罹病葉及び罹病枝に多くみられています。伝染源となる罹病葉及び罹病枝は除去して、確実に園外で処分し、発生に応じて薬剤散布を実施してください。特に、風雨が強まることが予想される場合には、事前に薬剤を散布してください。
・ **ハダニ類**の発生は、近畿、四国及び九州の一部地域で「やや多い」と予想されます。本害虫は、降雨が少なく、高温条件となる場合に多発することが懸念されますので、発生初期での防除を徹底してください。

（りんご）

・ **斑点落葉病**の発生は、「平年並み」と予想されています。本病は降雨が続くと発生が助長されるので、発生状況に注意して適期に薬剤防除を実施してください。
・ **ハマキムシ類**の発生は、北海道で「やや多い」と予想されます。園内観察を行い、発生に応じて薬剤防除を実施してください。
・ **ハダニ類**の発生は、甲信及び北陸の一部地域で「やや多い」と予想されています。園内観察を行い、発生に応じて薬剤防除を実施してください。

（なし）

・ **黒斑病**の発生は、中国及び九州の一部地域で「やや多い」と予想されています。発生状況に注意して適期に薬剤防除を実施してください。
・ **黒星病**の発生は、南東北、東海、近畿、中国及び九州の一部地域で「やや多い」、北関東の一部地域で「多い」と予想されています。昨年多発した地域では罹病葉、罹病果及び罹病した新梢の除去に努めてください。降雨が続くと感染が拡大するので、散布間隔が開き過ぎないように降雨の合間を見て薬剤防除を実施してください。
・ **シンクイムシ類**は、中国及び九州の一部地域で「やや多い」、関東の一部地域で「やや多い」または「多い」と予想されています。園内観察を行い、発生に応じて薬剤防除を実施してください。

（もも）

・ **せん孔細菌病**の発生は、東海の一部地域で「やや多い」と予想されます。本病は降雨や強風により発生が助長されるので、天候に注意し、適期に薬剤防除を実施してください。また、摘果作業にあわせて発病枝を除去してください。
・ **シンクイムシ類**の発生は、東海、中国及び四国の一部地域で「やや多い」と予想されています。園内観察を行い、発生に応じて薬剤防除を実施してください。

（ぶどう）

・ **べと病**の発生は、九州の一部地域で「やや多い」と予想されています。本病は降雨により発生が助長されるので、天候の推移に注意し、適期に薬剤防除を実施してください。

（かき）

・ **カキノヘタムシガ**は中国及び四国の一部地域で「やや多い」と予想されています。園内観察を行い、発生に応じて薬剤防除を実施してください。

## 【茶】

・ **チャハマキ**及び**チャノコカクモンハマキ**の発生は、関東の一部地域で「多い」、東海及び近畿の一部地域で「やや多い」と予想されています。地域の予察灯やフェロモントラップの誘殺状況を参考に、発蛾最盛期の 7 ～ 10 日後を目安に防除を行ってください。
・ **チャノミドリヒメヨコバイ**は関東及び九州の一部地域で「やや多い」、**チャノキイロアザミウマ**は関東の一部地域で「多い」、東海及び九州の一部地域で「やや多い」と予想されています。新芽生育期にこれらの害虫に加害されると芽の生育が抑制されますので、的確な防除に努めてください。チャノキイロアザミウマは萌芽期の、チャノミドリヒメヨコバイは開葉期頃の防除が特に有効です。
・ **カンザワハダニ**の発生は、関東の一部地域で「多い」または「やや多い」、東海、近畿及び九州の一部地域で「やや多い」と予想されています。6 月はケナガカブリダニ等の天敵類が増殖し、本害虫の防除が不要となることも多いですが、多発が予想される園地では、摘採前日数等の農薬の使用基準に留意しつつ、適切な防除を心掛けてください。

【野菜】

（施設栽培・雨よけ栽培）

・ 今後、曇りや雨の日が多く、湿度が上昇して病害の発生しやすい条件となります。**うどんこ病**については、湿度に関係なく感染が起これば発生するので、発生初期の防除を徹底してください。また、施設周辺に排水路を整備して雨水が施設内に入らないように留意し、作物の株間の通風を図る等、多湿にならないように施設を管理してください。さらに、病害の伝染源となる罹病葉や罹病果は施設外に除去し、土中に埋める等、確実に処分してください。
・ まもなく栽培終期を迎える施設作物では、施設内でウイルスを保毒した**アザミウマ類**や**コナジラミ類**が周辺ほ場へ分散することを防止するため、栽培終了後は抜根・切断と同時に施設を密閉して蒸し込み処理を行い、施設内の生存虫を死滅させてから作物残渣などを搬出してください。

（露地栽培）

・ 天候が日照不足・低温傾向になると、果菜類の**疫病**、**灰色かび病**、**べと病**が発生しやすい条件となります。ほ場観察を行い早期発見に努め、発生を認めた場合は薬剤を散布してください。

**今後の発生量が多い・やや多いと予想される病害虫及び対象地域**

| 作物名／病害虫名 | 発生が多い地域 | 発生がやや多い地域 |
|---|---|---|
| **トマト** | | |
| 灰色かび病 | 関東 | 北陸、東海、中国 |
| 葉かび病 | 北関東 | 南関東、東海 |
| アブラムシ類 | 北関東 | 南関東、甲信、北陸、近畿、中国 |
| **ナス** | | |
| ハダニ類 | 南関東 | 近畿 |
| アブラムシ類 | － | 南関東、北陸、近畿 |
| アザミウマ類 | － | 南関東、九州 |
| コナジラミ類 | 四国、九州 | － |
| **ピーマン** | | |
| アブラムシ類 | 四国 | － |
| タバココナジラミ | 四国 | － |
| ミナミキイロアザミウマ | － | 四国 |
| **きゅうり** | | |
| 褐斑病 | 北関東 | － |
| べと病 | － | 南関東 |
| アザミウマ類 | 北関東 | 南関東 |
| アブラムシ類 | － | 南関東、甲信、北陸、近畿 |
| ハダニ類 | － | 甲信 |
| **キャベツ** | | |
| ヨトウガ | － | 北東北、南関東 |
| アブラムシ類 | － | 南関東、甲信 |
| コナガ | 北東北 | － |
| **いちご** | | |
| うどんこ病 | － | 南関東 |
| アブラムシ類 | － | 南九州 |
| ハダニ類 | － | 四国 |

（野菜全般）

・ **アブラムシ類**の発生は、東北、北陸、関東、甲信、近畿、四国及び九州の一部地域で「やや多い」と予想されています。ほ場観察を行い、発生に応じて薬剤防除を実施してください。

（キャベツ）

・ **コナガ**の発生は、東北の一部地域で「多い」と予想されます。薬剤防除を実施する場合には、薬剤への抵抗性を獲得しないように、同一系統薬剤の連続使用を避けてください。また、合成性フェロモン剤での交信かく乱法による防除を行う際は、安定的な効果を得るために広範囲の地域に交信かく乱剤を設置してください。なお、BT 剤は、若齢幼虫期に有効であることから、発生の初期に散布するよう心掛けてください。

## 【花き類】

（きく）

・ **白さび病**の発生は、北陸、東海及び近畿の一部地域で「やや多い」と予想されます。本病は、発病後の防除は困難なため、発生状況に注意して適期に薬剤防除を実施してください。
・ **アブラムシ類**の発生は、関東の一部地域で「やや多い」と予想されます。ほ場観察を行い、これら病害虫の早期発見に努め、発生を認めた場合は、発生初期での防除を徹底してください。

## 【その他】

前回（平成 21 年 5 月 14 日）以降、各都道府県が発表している警報、注意報及び特殊報は下記のとおりです。

### 警報

| 発表月日 | 県名 | 作物名 | 病害虫名 |
|---|---|---|---|
| 発表なし | | | |

### 注意報

| 発表月日 | 県名 | 作物名 | 病害虫名 |
|---|---|---|---|
| 5 月 14 日 | 大分県 | 果樹全般 | カメムシ類（チャバネアオカメムシ、ツヤアオカメムシ、クサギカメムシ） |
| 5 月 26 日 | 茨城県 | ネギ | べと病 |
| 5 月 29 日 | 北海道 | アブラナ科野菜 | コナガ |
| 6 月 2 日 | 奈良県 | 水稲 | イネクビホソハムシ |
| 6 月 5 日 | 岐阜県 | 水稲 | ヒメトビウンカ、縞葉枯病 |
| 6 月 5 日 | 長崎県 | 水稲 | ヒメトビウンカ、縞葉枯病 |
| 6 月 8 日 | 大阪府 | いちじく | アザミウマ類 |

## 特殊報

| 発表月日 | 県名 | 作物名 | 病害虫名 |
|---|---|---|---|
| 5月14日 | 静岡県 | ネギ、<br>タマネギ、<br>ラッキョウ | アイリスイエロースポットウイルス（IYSV） |
| 5月20日 | 愛知県 | キク | キク苗腐敗病（仮称）（*Plectosporium tabacinum*） |
| 5月20日 | 愛知県 | キク | キククロロティックモットル病（仮称）（CChMVd） |
| 6月 1日 | 大分県 | 大豆 | ダイズシストセンチュウ |

＜平成21年度の病害虫発生予報の発表日＞

第 1号：　4月23日　（木曜日）・・・発表済み
第 2号：　5月14日　（木曜日）・・・発表済み
第 3号：　6月11日　（木曜日）・・・今回発表
第 4号：　7月 9日　（木曜日）
第 5号：　7月23日　（木曜日）
第 6号：　8月 6日　（木曜日）
第 7号：　9月10日　（木曜日）
第 8号：　10月 8日　（木曜日）
第 9号：　11月12日　（木曜日）
第10号：　2月18日　（木曜日）

お問い合わせ先

消費・安全局植物防疫課
担当者：防除班 大岡、金武
代表：03-3502-8111（内線4562）
ダイヤルイン：03-3502-3382
FAX：03-3502-3386

当資料のホームページ掲載URL
http://www.maff.go.jp/j/press/